

空調システムで 室内の空気をきれいに - 省エネで暖かく -

日時 9月21日 2017年 木曜日
開場 13:00 / 開演 13:40

会場 ビッグルーフ滝沢
大ホール

入場無料
定員 200名

第37回東北建築賞受賞作品パネル展示 同時開催

近年の建築物は気密性が高いことから、室内で発生する水蒸気や二酸化炭素、建材や家具等から発生のある化学物質等を、換気扇等を使用して強制的に排出し、新鮮な空気を室内へ取り入れ交換する必要があります。(平成15年7月からは、建築基準法でも規定されています。)

しかし、換気を行うことは、せっかく暖めたり冷やした空気を外部に捨てることとなります。

有効な空気を捨てず効率よく換気を行うには、空調システムを使用することが効果的で、省エネにも繋がります。

そこで、空調システムを使用すると、どのように効果的なのか、また、空調システム以外に冷暖房効果を効率よくするためには、どのような方法があるかについて、今後の新築やリノベーションの参考にさせていただければと思います。

室内環境を快適に保つことは、省エネや高齢者の室内等の温度差によるヒートショック防止にも大きく効果が期待されます。

皆様、ぜひ本講演会に裏面の参加申込書をご確認いただき、ご参加下さい。

講演
1

高齢者の在宅入浴環境について

公立大学法人 岩手県立大学 社会福祉学部 学部長

狩野 徹氏



1957年神奈川県生まれ。横浜国立大学工学部建築学科卒業後、同大学院で修士(建築学)、東京大学大学院で博士(工学博士)。財団法人東京都老人総合研究所に勤務後、1999年岩手県立大学社会福祉学部助教授として赴任。2005年教授、2016年学部長。専門は福祉工学、福祉のまちづくりで、東日本大震災後の仮設住宅や公共施設などへのユニバーサルデザイン導入で知られている。ビッグルーフ滝沢の建設推進委員長として基本計画・基本設計にも携わる。

講演
2

敷地と気候に馴染むエコハウス設計 快適と省エネのベストバランスとは？

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 准教授

前 真之氏



1975年広島県生まれ。1998年東京大学工学部建築学科卒業。同大学院で修士課程、博士課程を修了。日本学術振興会特別研究員、独立行政法人建築研究所研究員を経て、現職に至る。日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本太陽エネルギー学会所属。建築環境工学を専門分野とし、省エネで快適性の高い住宅に向けた要素技術と設計手法の開発に取り組んでいる。

共催 (一社)日本建築学会東北支部岩手支所 岩手空調機器メーカー会

後援 株式会社インターセントラル サンポット株式会社 ピーエス株式会社 東芝キャリア株式会社

